

武石診療所運営 「過疎債を活用」

上田市 住民に説明

上田市は20日、市営の武石診療所の診療体制見直しについて、住民説明会を市武石地域総合センターで開いた。市は、武石地域が来年度、過疎債（借金）を運営に活用する考えも示した。



住民9人が出席。過疎債は返済の7割に地方交付税を充てるため、下村孝之・市武石地域自治センター長は「有利な起債をフル活用し、診療所を守っていきたい」とした。住民からは市側に対し、住民に診療所の利用を呼び掛け、患者を増やすよう求める意見などが出た。

診療体制見直しでは、国保依田窪病院（長和町）などから医師を派遣してもらい、複数人体制にすることで負担を軽減。夜間休日に患者からの呼び出しに対応する「宅直制度」は廃止する。今年12月以降に同病院と電子カルテを統合し、患者の情報を共有して夜間休日に診察できるようにもする。説明会はこの日が2回目。

武石診療所の在り方についての住民説明会